

太宰府中学校 1 学年だより No.24

R 2.11.26 (木)

文責：石橋 眞子

「対馬丸～さようなら、沖縄～」

先日の道徳で「対馬丸～さようなら、沖縄」というアニメ映画を鑑賞しました。

今から76年前の1944年8月、戦争がだんだん激しくなり、次は沖縄に敵が上陸するのではと考えた政府は、「沖縄県民10万人を県外へ疎開させよ」との命令を沖縄県に下しました。

沖縄県の子どもたちは、先生と一緒に対馬丸に乗って疎開することになったのです。

8月22日午後10時すぎ、対馬丸は沖縄から長崎に向かアメリカ軍の潜水艦「ボーフィン号」の魚雷攻撃により沈没しました。1700人あまりの乗船者のうち、生存者はたった259人とされていますが、正確な犠牲者数は今もわかっていません。

対馬丸が被害にあったことは、警察や憲兵によって箝口令(人にしゃべってはいけないこと)がしかれました。沖縄に戻った生存者は、対馬丸に乗った子どもの家族から「うちの子はどうしたんだ」と尋ねられても答えられませんでした。

なぜ対馬丸沈没の悲劇は隠されたのか。おそらく、対馬丸が沈没した事実が広まることで、疎開が進まなくなることを恐れたり、国民に戦争が悪化していることを知らせたりしないためではなかったのかとみられています。

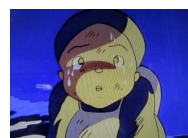
今年は「戦後75年」ということもあって、多くのメディアが「対馬丸」のことを伝えていました。慰霊祭(亡くなった方の霊を慰め鎮めるために行う祭式)では、生き残った方々や遺族の方が、悲しみを新たにしていました。

生き残った方々は、今でも苦しんでいます。

当時、対馬丸に乗船して生き残った方のお話です。(一部抜粋しています)



…私が対馬丸事件を経験したのが4歳でした。今、自分の孫が同じ年になろうとしています。対馬丸の生存率は学童(小学生以下の子どもたち)7%、一般(疎開者)14%、軍人48%、船員72%と言われています。いかに子どもや一般人の犠牲が大きかったか。戦争は子どもだろうがなんだろうが関係ない。ルールがあっても守らない。今も世界各地では紛争が起きています。武力では何も解決しないです。怒りを憎しみに変えて復讐してはいけないと思います。



最後、生き残った清が押し入れの中で、お母さんに伝えたいけど口に出せずに「しんだ」という文字を涙で書くシーンや、映画の最後に、亡くなった子どもたちの名前と年齢が流れるシーンには、胸を締め付けられたことと思います。

戦争で犠牲になるのはいつも、弱い立場の子ども・年寄り・女性なのです。

皆さんの心にはどんなことが残りましたか。

そして、これから生きていくうえで、どんな願いが心に浮かびましたか。



皆さんの感想から

○私は、一度「少年の船」で沖縄に行きました。そのときに、一度対馬丸を見ました。そこには、アメリカに攻撃されて死んだ子どもたちの人数やいろいろなことを知りました。改めて対馬丸を見て思うと、泣ける話です。

○戦争で、何の関係のない人たちも残酷に殺してしまう。この理不尽な戦争を二度と起こさず、起こさせてはいけないと思いました。なぜ、国どうしの戦争で、子どもや老人、戦争を望んでいない人まで関わらないといけないのだろうと思った。

○対馬丸で亡くなった方は数字にすると「何人」と小さく見えるけれど、その一人一人に大切な家族がいて、友達がいる…と考えると、失ったものはとてつもなく大きいと思います。

○対馬丸が沈んだのに隠ぺいされて、遺族の方は帰ってきた子どもに自分の子どもはどこかとか対馬丸はどうなったのかとか子どもに聞かなくてはならない状態をつくっていて、戦争に対する考えかたが変わる映画でした。

○対馬丸に乗っていて助かった人は、沈んだことを話すことさえも許されないというのは、当時の軍や政府の異常さが伝わってきた。対馬丸のような悲しい出来事を起こさないためにも、戦争は絶対にしてはならないと思った。

○最初はわくわくしていた子どもたちが、海に沈んでしまうシーンはなんとも言えない悲しさがありました。子どもたちを口止めさせたり、国のためとは言いながらやっている行動が本当に正しいのか考えて、これからは自分の意思で考え、動き、発言していかなければいけないと思いました。戦争ほど必要でないものはないと思います。

○戦争に巻き込まれて死んだ子どもたちもかわいそうでならないけれど、敵の方もたくさんの人々が死んでいったことを考えると、本当に誰を恨んでいいのかわからない。日本にこういう出来事があったなんて知らなかった。

○今回の映画を見て、悲しい話だけれど、絶対に知っておかなければいけない出来事だと思った。

○今回の授業を受けて、戦争についてより深く考えることができ、平和に生きることがどれだけ大切かがわかりました。

○戦争は何も悪いことをしていない人たちまで巻き込み、そして殺す。対馬丸はその代表的な例だと思いました。清(主人公)が、大切な友人を失い、そのことを誰にも話すと言われて、家に帰っても空襲でお父さんが死ぬ、あまりにも残酷すぎると思いました。

○70年以上前にこんなに悲惨な戦争が起きて、悲しい思いをした人、苦しい思いをした人、いろいろな思いがあったと思う、けれど、その人達が一番に思うことは「戦争を二度と起こさない、平和な世界にしてほしい」という事だと思っています。二度と戦争を起こさないために、身近なこと(挨拶)などをやっていけば、戦争は起きないと思います。

○最近、自分が見た戦争に関する動画で、「もしも日本が核保有をすると」という動画のコメントに日本は核保有をすべきという書いている人がいたけれど、この対馬丸で亡くなった人たちの苦しさや悲しさを考えてほしいと思った。